



JICA インターン 最終発表

東京工業大学 4年
加藤 智明



発表の流れ

- はじめに
- 当初の問題意識・目標
- 業務内容
- 何が得られたか
- 反省点、もっと知りたいこと
- 今後の抱負
- おわりに

はじめに

- インターン期間 …… 2010/08/09~2010/10/08
- 勤務日数 …… 35日間
- 所属 …… 経済基盤開発部 運輸交通・情報通信第1課
- デスクはここ↓



部 長 ・ 次 長 ・ 審 議 役

支
援
ユ
ニ
ツ
ト

運
輸
3
課

運
輸
2
課

運
輸
1
課

計
画
・
調
整
課

都
市
・
地
域
1
課

都
市
・
地
域
2
課

当初の問題意識・目標①

～貧困削減とインフラの関係を考える～

インフラ開発はどのように貧困削減に貢献するのか



当初の問題意識・目標②

～JICAの役割・業務について知る～

- 仕事の中身は？
- 関係者は？
- 職員の方の考え方・視点は？

当初の問題意識・目標③

他にも・・・

- ODAについて知る
- 自分の将来のキャリアについて考える
- 社会人としての基本を学ぶ

主な業務内容

| いつ | 誰と | 何を |
|-------------|------|-------------------------|
| 08/09~08/13 | 小泉さん | 会議・打ち合わせ(マプト都市交通)への同席など |
| 08/16~08/20 | 黒瀬さん | 資料作成(ウズベク鉄道電化、インド地下鉄)など |
| 08/23~08/27 | 赤城さん | 港湾PPP事業の事業者選定について |
| 09/02~09/10 | 小野さん | 鉄道案件の整理作業など |
| 09/13~09/17 | 向上さん | アフリカの港湾事情について |
| 09/21~09/24 | 紺屋さん | BOPビジネスに関する調査など |
| 09/27~09/29 | 中田さん | 鉄道PPP事業の検討項目整理 |
| 10/04~10/08 | 横井さん | 要望調査のコメント案作成 |

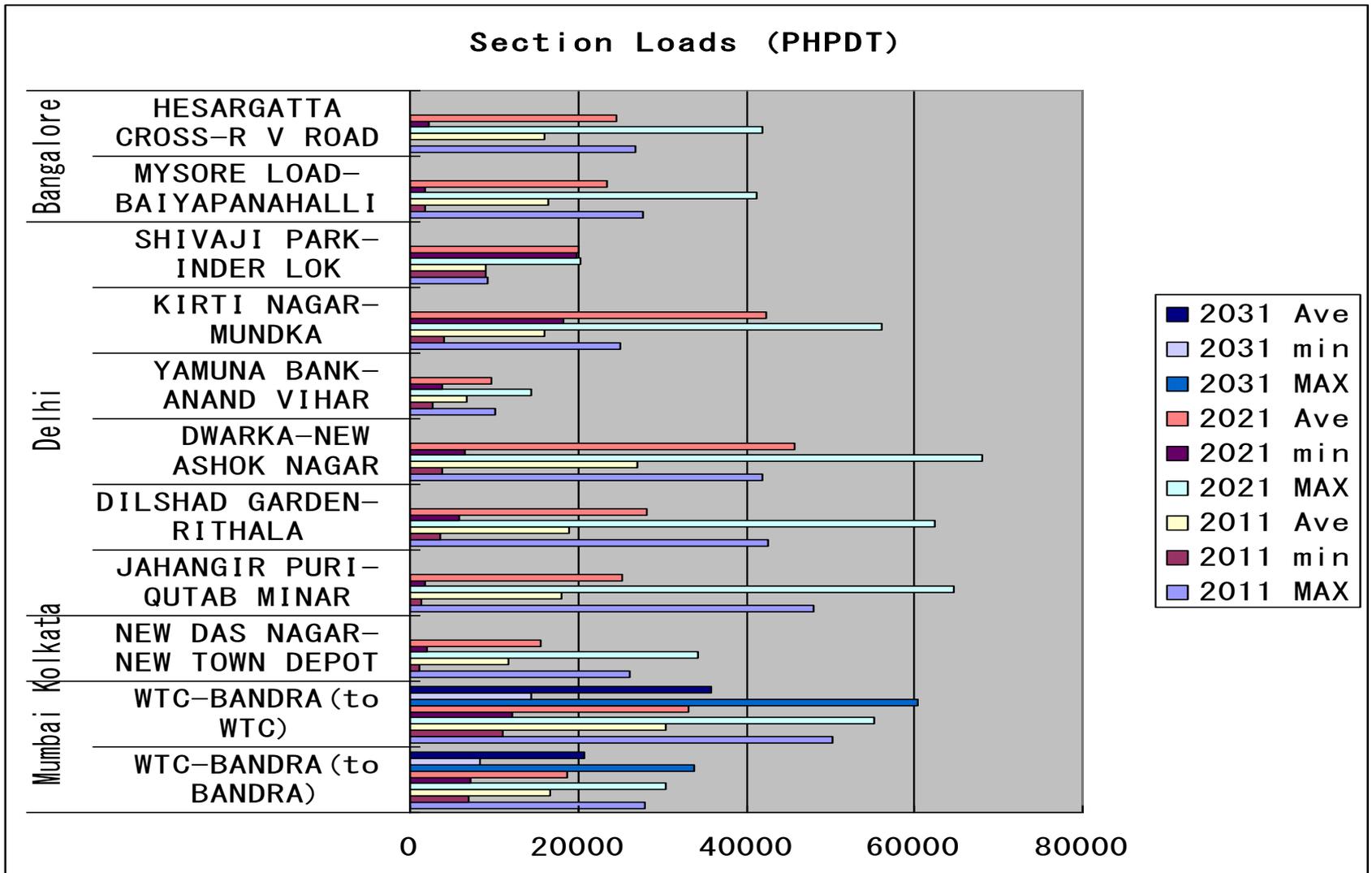
業務の具体的内容を一部紹介①

～ インド地下鉄 需要予測集計 ～

- インドで実施する借款の鉄道案件の設計時の需要予測結果を各路線毎に集計し、横断的な比較を行うための資料を作成
- 4都市10路線を対象
- 駅間輸送人数(ピーク時間・方向)、1日あたり駅間輸送人数、駅乗降客数の最大・最小・平均を比較

業務の具体的内容を一部紹介①

～ インド地下鉄 需要予測集計 ～



業務の具体的内容を一部紹介②

～ 鉄道案件整理作業 ～

- JICAが実施している主な鉄道案件を整理・一覧化し、外部に対する情報供与や、内部での情報共有のためのツールにする(そのたたき台)
- 外部用・内部用に別々のシートを作成
- 今回は、外部用シートをJICA's Worldの鉄道特集に向けた広報との打ち合わせで使用
- 今後、継続的に改良を加え活用していく

業務の具体的内容を一部紹介②

～ 鉄道案件整理作業 ～

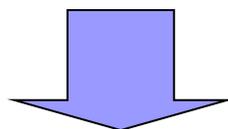
| 対象国 | トルコ | ベトナム | | | バングラ |
|---------------------------|---|---|----------------------------------|----------------------------------|----------------------|
| 案件名 | ボスポラス海峡横断地下鉄整備事業Ⅱ | ホーチミン市都市鉄道建設事業(1号線) | ハノイ市都市鉄道建設事業(1号線) | ハノイ市都市鉄道建設事業(2号線) | ダッカ都市 |
| 運輸交通・情報通信1課 担当者(敬称略) | 黒瀬 | 中田、小野 | 中田 | 中田 | |
| ベースとなる調査 (調査終了年) | | ホーチミン都市交通計画調査(HOUTRANS) (2004) | ハノイ市総合都市開発計画調査(HAIDEP) (2007) | ハノイ市総合都市開発計画調査(HAIDEP) (2007) | ダッカ都市交通 (フョ (2 |
| 供用開始予定年 | 2010 | 2015 | 2017 | 2016 | 2 |
| 借款額 (百万円) | 98,732 | 104,942 | 100,321 | 110,448 | |
| EIRR (%) | 12.9 | 12.2 | 10.69 | 29.1 | |
| FIRR (%) | 6.4 | 5.4 | 1.44 | 12 | |
| 総延長 (km) | 76 | 19.7 | 10.5 | 11.545 | |
| 区間 | Halkali - Gebza間 | Ben Thanh - BX Suoi Tien間 | Giap Bat - Gia Lam間 | Na Thang Long - Tran Hung Dao間 | Uttara Nort |
| 駅数 | | 14 | 9 | 10 | |
| 形態 | トンネル | 地下+高架 | 地上+高架 | 地下+高架 | |
| ピーク時間利用者数予測(1方向) (予測年) | 74,879 (2025) | 28,552 (2030) | 16,800 (2030) | 45,212 (2040) | 40 (2 |
| 1日利用者数予測 (予測年) | 1,566,630 (2025) | 635,000 | 294,544 (2030) | 777,000 (2040) | 65 (2 |
| ピーク時運行間隔 (sec) | 120 | 300 (2022) | 480 | 135 (2020) | |
| 最高速度 (km/h) | 100 | 100 | 90 | 110 | |
| 表定速度 (km/h) | | 40.7 | 29 | 35 | |
| 車両サイズ (m*m*m) | | 20*2.95*3.655 | 20*2.95*3.655 | 20*2.95*3.655 | |
| プラットフォーム長 (m) | | 130 | 210 | 130 | |
| 事業の進捗状況 | | | | | |
| アピールポイント | アジアとヨーロッパをつなぐ初めての海底地下鉄 トンネル工事に日本の技術を活用(世界最深) 遺跡の保存に配慮 | 対越としては初の都市鉄道建設事業に 対する円借款供与 STEP案件 日本の鉄道技術・基準・ノウハウを利用 | STEP案件 2号線・3号線と接続予定 | STEP案件 1号線・3号線及び高速バスシステムと接続予定 | 当該国初の都市 |
| 他の案件との連携 | | | | | 11 |

他にもこんなことを

- 種々の資料を読み込む(課題部研修用資料、OECDレポート、プロ研レポートetc)
- 勉強会に参加
- 職員の方と面談
- 会議・打ち合わせに同席(課内会議、東アフリカ鉄道、アンゴラ ナミベ港改修etc)
- 研修センターの見学

今回のインターンで何が得られたか 当初の目標は達成されたか

インフラ開発はどのように貧困削減に貢献するのか



- 「貧困」の定義
- 「経済成長」は一つの重要な視点
- 民間の力
- 直接的な裨益、効果の可視化・数値化の壁
- 貧困削減方針・・・特になし

今回のインターンで何が得られたか 当初の目標は達成されたか

JICAの役割・業務について・・・

- 国際協力のプロデューサー
- 現地C/P、コンサルタント、外務省やその他の関係省庁、研究機関、民間事業者等の多様な関係者
- 課題部は主に技術的見地から支援の質の確保
- 広報・宣伝活動の重要性

今回のインターンで何が得られたか 他にも・・・

- 途上国・インフラ開発に関する様々なトピック
- ODAに対する理解・関心の高まり
- 色々な立場の方々からの多面的な意見
- 実務者の方とのつながり
- 卒論(あるいは修論?)のテーマ → LBT

反省点・もっとこんな事が知りたい

- 勉強不足
- もっと積極的に他部署へ出かけて行くべきだったか
- JICAの仕事の全体像の理解は曖昧
- 他部署の業務内容に関しては分からないことだらけ

今後の抱負

- まずは、卒論に全力投球！
- アフガンLBTもチェック！
- 留学して自分を磨きます！
- 3年後、就職します！

おわりに

お忙しい中、色々のご協力下さり、本当にありがとうございました。